

平成26年 第4回
教育委員会定例会会議録

平成26年4月8日（火）
港区教育委員会

港区教育委員会会議録

第2396号

平成26年第4回定例会

日時 平成26年4月8日(火) 午後3時00分開会

場所 教育委員会室

「出席委員」

委 員 長	綱 川 智 久
委員長職務代理者	澤 孝一郎
委 員	永 山 幸 江
委 員	小 島 洋 祐
教 育 長	小 池 眞喜夫

「説明のため出席した事務局職員」

次 長	安 田 雅 俊
庶務課長	佐 藤 雅 志
教育政策担当課長	橋 本 誠
学務課長	新 井 樹 夫
学校施設担当課長	奥 津 英一郎
生涯学習推進課長	白 井 隆 司
図書・文化財課長	前 田 憲 一
指導室長	渡 辺 裕 之

「書記」

庶務課庶務係長	小野口 敬 一
庶務課庶務係	鈴 木 玲 奈

「議題等」

日程第1 教育長報告事項

- 1 港区教育ビジョンの策定について
- 2 平成26年度学級編成等について
- 3 生涯学習推進課の3月事業実績について
- 4 教職員の人事異動について

「開会」

- 綱川委員長 皆さん、こんにちは。ただいまから平成26年第4回港区教育委員会定例会を開会いたします。よろしくお願いいたします。(午後3時00分)

「会議録署名委員」

- 綱川委員長 それでは、日程に入ります。本日の署名委員は澤委員、よろしくお願いいたします。

第1 委員長報告事項

1 港区教育ビジョンの策定について

- 綱川委員長 それでは日程第1、委員長報告事項に入ります。港区教育ビジョンの策定について教育政策担当課長、説明をお願いします。

- 教育政策担当課長 報告の前に資料1、2ページの名簿の訂正があります。大変申し訳ありませんが、よろしくお願いいたします。

訂正の内容ですが、「会長」、「副会長」と記載すべきところが、「委員長」、「副委員長」としておりました。また、有村久春会長がこの4月に帝京科学大学こども学部教授から東京聖栄大学健康栄養学部教授に就任され所属が変わっております。申しわけありません。よろしくお願いいたします。

それでは、港区教育ビジョンの策定についてご報告させていただきます。資料ナンバー1をご覧ください。

1の概要ですが、港区教育ビジョンは、社会状況の急激な変化に伴い、教育を取り巻く状況も大きく変化する中であって、中長期的な展望に立った港区の目指すべき方向を明確に示す基本理念として策定します。

策定につきましては、平成26年1月28日開催の教育委員会で決定した港区教育ビジョン策定方針に基づきまして、3月24日に港区教育ビジョン推進本部会議を開催いたしました。港区教育ビジョン推進本部会議開催後の3月26日に第1回の港区教育ビジョン会議を開催し、策定に向けた体制を確立して検討を始めたところでございます。

2の港区教育ビジョン会議の委員につきましては、名簿のとおり有村久春会長、坂口緑副会長を初めとする全体で17名の委員の皆様にご委嘱をさせていただきました。

3の港区教育ビジョンの策定に向けた取り組みのスケジュールですが、第1回のビジョン会議につきましては今後の会議の運営について、続いて港区教育ビジョンの策定方針について、3番目に平成24年度～26年度の港区教育振興プラン等の説明、配付資料といたしまして「みなとタウンフォーラム第5グループ提言書」、「区政モニターアンケート」等の資料に基づきまして港区の教育行政の現状について審議されました。

第2回教育ビジョン会議につきましては、ビジョンの基本的な考え、ビジョンの構成、各推進計画に係る分科会について審議する予定です。

第3回教育ビジョン会議では、ビジョンの素案について審議いたします。6月には港区教育ビジョンの素案を決定し、パブリックコメントを実施して区民の皆様からいただいたご意見を反映し、

第4回教育ビジョン会議で審議を行った後、10月には教育ビジョンを決定したいと考えております。

なお、各推進計画についても2月に決定する予定で進めております。

参考資料として、港区教育ビジョン推進本部設置要綱と港区教育ビジョン会議設置要綱を添付させていただきました。

また、参考資料の最後に第1回港区教育ビジョン会議で配付した資料を添付いたしました。

甚だ簡単ですが、港区教育ビジョン策定についてのご報告とさせていただきます。

○綱川委員長 ただいま教育政策担当課長から説明がありましたけれども、この件につきましてご意見、ご質問はございますでしょうか。

○澤委員 今、10月に教育ビジョン決定をするまでの全体的な日程の案が説明されました。前回までの話ですと、最高決定機関は教育ビジョン会議ということですが、それをアレンジするのに教育ビジョン推進本部会議、あるいはその下の教育ビジョン推進本部幹事会、そのあたりでかなり具体的なことをさらに検討するというようになっていたように記憶しているのですが、その会議はこの中にどういうふうに入ってくるのかというところを伺います。

○教育政策担当課長 教育ビジョン推進本部の会議のもとに港区教育ビジョン推進本部幹事会を4月18日に開催いたします。そこで区長部局との連携等について話し合いを行います。

5月から各分科会を開催いたしまして、個別計画に向けて話し合いを進めていく予定になっております。

○澤委員 分科会というのは今の1ページ目に記載があるように、5月に分科会の開催が決まっていますけれども、ビジョン決定までに、分科会というのは適宜開かれるということですか。

○教育政策担当課長 各担当のセクションがありますので、学校教育分科会ですと私ども教育政策担当が、生涯学習分科会、スポーツ推進分科会ですと生涯学習推進課が、図書館計画分科会、こども読書活動分科会につきましては図書・文化財課ということで適宜開催する予定になっております。

○綱川委員長 この資料1策定に向けた取り組みスケジュールの表にある26年5月分科会の開催というのは、1回とは限らずに、5月、6月に、何回も開催するというとらえ方でよろしいでしょうか。

○教育政策担当課長 そのとおりでございます。必要に応じて何回か開催する予定になっております。

○澤委員 策定業務の支援をする業者がいるようですが、そこと教育ビジョン会議との関係はどうなっているのですか。

○教育政策担当課長 策定の支援の業者につきましては、第1回目ときはまだプロポーザルが行われていなかったため、参画しておりませんでした。3月末にプロポーザルを行って、業者が決定しております。

今後契約になりますけれども、会議の支援、資料の作成、それから個別計画に向けたアンケートを行いますので、そちらの支援等をお願いする予定になっております。

○澤委員 考え方ですけれども、分科会にもこの策定支援事業者はかかわりを持つようなことにな

るのですか。

○教育政策担当課長 各分科会にもかかわることになります。

○綱川委員長 では、この案件はよろしいでしょうか。

2 平成26年度学級編制等について

○綱川委員長 それでは、次に平成26年度学級編制等について。学務課長、説明をお願いします。

○学務課長 それでは、平成26年度学級編制等についてご報告をさせていただきます。資料ナンバーの2をご覧ください。なお、この数値は速報値でございます。

それでは、1枚目の総括表をご覧ください。前年度との比較でございますけれども、幼稚園では2学級、全体では47名増となっております。

その下、小学校でございますけれども、11学級、395名の増となっております。

中学校では、学級増はございません。生徒数のみ25名の増ということで、全体としては一番下になりますけれども、467名の増加となっております。

ページをおめくりください。次のページでございますけれども、それぞれの内訳となっております。前年度との比較を中心にご説明をさせていただきます。

初めに幼稚園でございます。初めに3歳児、一番左側でございますけれども、全体で定員を35名増の240名といたしました。一番下でございます。充足率は99%となっております。

次に、4歳児でございます。定員を85名増の500名といたしました。充足率は73.2%でございます。

最後に5歳児です。定員を75名増の490名といたしました。充足率は79.3%でございます。

全体的な充足率につきましては、前年度と比べますと約10%程度下回っております。

1枚をおめくりください。次のページでございます。小学校でございます。

最初に1年生ですけれども、1学級35人編制としております。前年度と比べまして三光、麻布、筈と青山小学校がそれぞれ1学級増でございます。なお芝浦、港南小学校については学級増がございませんでした。全体では4学級、人数は116名の増となっております。

なお、学校選択希望制の抽選となった学校は芝、御田、高輪台、白金、本村、東町小学校の6校でございます。なお、兄弟枠につきましては全員が繰り上がっております。

それから、6校で最終的に選択希望をした人の中で、兄弟枠を除く223名中67名が繰り上がっております。

また、東町小学校の国際学級でございますけれども、ご覧いただいた内数ですけれども、6名となっております。

次に、右側の2年生でございます。昨年度と同様に都の学級編制基準、こちらが35人となっておりますので、それに基づいて編制してございます。前年度との比較でいきますと芝浦小学校で2学級増、三光、港南小学校でそれぞれ1学級増、全体では4学級増、児童数は157名の増となっております。

次に3年生以降でございますけれども、1学級40人で編制しております。3年生では芝浦、高輪台、白金、東町小学校がそれぞれ1学級増、三光小学校で1学級減、全体では3学級増の32名の児童数の増となっております。

次に4年生でございますけれども、高輪台、白金小学校でそれぞれ1学級減、全体で2学級減、児童数は2名の減となっております。

次に5年生でございます。高輪台と港南小学校でそれぞれ1学級増、全体では2学級の増、児童数は91名の増となっております。

最後に6年生では、芝浦小学校で1学級増、三光小学校で1学級減、全体では学級数に変化なく、児童数は1名の増となっております。

表の下には筭小学校の日本語学級の通級の人数を記載しております。昨年度と比べ、全体で児童数は1名増加しております。

それでは、1枚おめくりいただきます。次のページは中学校でございます。1年生は昨年度と同様、都の学級編制基準が35人となっております。

1年生の前年度比較でございますけれども、御成門中学校で1学級増、高陵、赤坂中学校でそれぞれ1学級減、全体では1学級減、4名の生徒の減となっております。

なお、学校選択希望制の抽選となった学校は、三田、高松中学校の2校でございます。最終的に選択希望した人の中で、三田中学校で35名、高松中学校で54名が繰り上がっております。

2年生以降は1学級40人で編制しております。2年生は赤坂中学校で1学級増、高陵中学校で1学級減、全体としては学級数に変更はなく、29名の減となっております。

最後に3年生でございますけれども、港南中学校で2学級増、六本木中学校で1学級の増、御成門と赤坂中学校でそれぞれ1学級の減、全体で1学級増、生徒数は58名の増となっております。

最後にまた1枚おめくりいただきます。こちらは小学校、中学校の特別支援学級でございます。最初に小学校の固定学級でございますけれども、全体で学級数は同じでございます。児童数は1名の増となっております。通級学級につきましては、1学級の増、人数で3名の増となっております。

その下が中学校でございます。固定学級全体では学級数に変化はなく、生徒数は1名増となっております。

説明は以上でございます。

○綱川委員長 ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問はございますでしょうか。

○澤委員 幼稚園は、全体で47名増ということで、3年保育の効果がかなり出てきています。4歳児、5歳児の充足率も、先程の課長の説明ですと、70%を超えています。我々が教育委員に就任したころは、随分定員に対して在園者が少なかったのですけれども、それから比較すると隔世の感があり、3年の保育の効果がすごく大きいと感じました。

小学校のほうは、増減はあるのですけれども、三光小学校が84名で3クラスというのは、朝日中学校の新しい小中一貫教育校の開設を区民が期待している結果のあらわれなのかなというようにも思えます。今までの流れからすると、すごく増えましたよね。

それから、青山小学校は久しぶりの2クラスですね。それぞれの学校の立場からこの数値を見る

とうれしいことですね。

中学校については、先生方もPTAも一生懸命やっただいています。7月に毎年開催している全体の説明会とか、学校訪問で中学校の授業も見させていただいたりしていますけれども、みんな一生懸命やっています。教育環境としてはすごくよくなっていると思いますが、なかなか数値に思うようにあらわれてきていないのが、ちょっと残念ですね。

それから、小学校に戻りますけれども、昨日、東町小学校の入学式に行ってきました。卒業式に国際学級ができてから行っていないので、新しい体制になって初めて入学式に行きましたが、挨拶を2カ国語でやっていました。東町小学校の国際学級を区民あるいは保護者が見たら、どういう評価をされるのかが大きな関心事でした。開設当時は、結構たくさん反応があっても、年数が経つにしたがって印象が薄れていくようなこともあります。通常の授業の全体像はわかりませんが、昨日の入学式で一端を見せていただいて、東町小学校の国際学級に対する保護者のイメージは、内容をプラスに受けとめていただいている、そういう流れが感じられました。

篠崎校長先生が日本語と英語の2カ国語で、歓迎の言葉などをお話しされていました。

学級編制等の報告とはちょっとずれますが、以上です。

○綱川委員長 私からよろしいですか。

まず1点目が、幼稚園ですけれども、3年保育ではない4園につきましては、4歳児が定員の半分以下とか、三光幼稚園については3分の1の充足率しかないというようなことで、やはりこの辺を区民がどう考えているのかということが一つ気になります。これからどうしようかというところを学務課としてどう考えていらっしゃるのか、質問です。もう一つは、東町小学校について、澤委員からお話がありましたが、去年の教育委員会での希望選択の説明の時に、国際学級ができて初めて抽選になりました、国際学級を希望している外国籍の子どもが抽選になった場合にどうなんですかとお聞きしましたが、その時、通常の希望選択の人と一緒に条件ですというお答えだったと思います。今回漏れた方はいらっしゃいませんでしたか。その2点を教えてください。

○学務課長 1点目でございますけれども、充足率が低いということで、これは十分私も課題として認識しておりますので、今後、教育政策担当課長とも話し合いながら、対応してまいります。それから2番目です。外国籍の方ですが、6名の方は全員入っております。漏れた方はいらっしゃいません。

○綱川委員長 今回は抽選漏れはなかったということですね。わかりました。

ほかによろしいでしょうか。

○永山委員 この学級編制の表とは別ですけれども、全体として子どもが何名いて、保育園には何名行っているとか、私学には何名行っているとか、そういうデータみたいなものを把握はしていらっしゃるでしょうか。この表とは全然別の話になりますけれども。

○学務課長 今、私の手元にはございませんけれども、当然それは把握しておりますので、全体の子供がどのくらいで、保育園がどのくらい、あるいは幼稚園がどのくらいというデータは、後ほど提出をさせていただきます。

○綱川委員長 就学人口に対して公立に何名、私学に何名とかそういうことですよ。

○永山委員 はい。

○綱川委員長 では、学務課長、データが出そろい次第提供していただければと思います。よろしくをお願いします。

○小島委員 朝日中学校ですが、いつも心配していますが、3年生が14名で、2年生が16名で、今年1年生が24名ですから、今年の入学生徒数は大分増えています。先ほども澤委員の言われた三光小学校と同じようにいい結果が出ているので、大変うれしく思っています。建物も大分でき上がってきて、内部の工事はまだですが、小中一貫の効果として生徒さんが増え、うれしく思っています。

○綱川委員長 私は昨日、神応小学校の入学式に出ささせていただきまして、卒業生の人数がシングルだったので倍増ですと校長先生がおっしゃっていました。卒業生が9名で新入生は18名ということでそんなことをおっしゃったのですけれども、効果が出ているのかなと思いました。

○澤委員 もう一つですが、小学校の特別支援学級で、知的障害の方が全体で7名増ですか。それから難聴、言語障害、情緒障害を合わせて10名とかなり増えています。その7名増は、新1年生の合計が15名ですから、1年生が増えたということですか。

○学務課長 こちら詳細を申し上げますと、まず一番上の赤羽小学校でございますけれども、卒業はゼロ、入学が1名となっております。その下でございますけれども、港南小学校は3名卒業で4名入学です。その次の本村小学校でございますけれども、卒業が4名、入学が5名でございます。その下、青山小学校は卒業が3名、入学が5名でございます。

○綱川委員長 それでは、この案件はこの辺でよろしいですか。次に、移りたいと思います。

3 生涯学習推進課の3月事業実績について

○綱川委員長 生涯学習推進課の3月事業実績について。生涯学習推進課長、説明をお願いします。

○生涯学習推進課長 それでは、生涯学習推進課の3月の事業実績についてご報告をいたします。資料ナンバーの3をご覧ください。実績となります。

タグラグビー教室が4回開催をしております。前のご報告をいたしました、青山教室は同日に港区スポーツふれあい文化健康財団と日本ラグビー協会の主催で、タグラグビーフェスティバルを秩父宮ラグビー場で関係した関係で、秩父宮ラグビー場で開催をしております。タグラグビーフェスティバルを含め、教室に通われている方も日ごろ入ることのできない場所だったので、大変皆さんに喜んでいただいていた好評の感想を得たところでございます。

最後でございますが、例年秋に実施をしておりました生涯学習センターで活動している団体が、日頃の成果の発表の場として実施をしているフェスティバルなんですが、10月の実施予定日が大型の台風の接近のため延期をしまして、今回3月に開催をしたものでございます。今回、天候に恵まれ開催することができたところでございます。

報告は以上でございます。

○綱川委員長 ただいまの説明についてご意見、ご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

4 教職員の人事異動について

○綱川委員長 続きまして、教職員の人事異動について。指導室長、説明をお願いします。

○指導室長 それでは、平成26年4月1日現在の教職員の人事異動についてご説明いたします。資料ナンバー4をご覧ください。

まず小学校長の異動についてご説明いたします。定年による退職校長が2名、再任用での退職した校長が1名の計3名となっております。また、区内へ転任の小学校長が2名、区外への転出小学校長が1名となっております、区内小学校長の欠員は4名でございました。したがって、4名の補充に当たり、区内小中学校各1名を2名の副校長が昇任で校長に着任しております。そして、新たに区外からの転入の校長2名を配置いたしました。

続いて中学校の校長についてです。中学校は定年退職による校長が1名おりましたが、引き続き同じ中学校で再任用校長として配置いたしましたので、中学校の校長は実質10校とも変更はございません。

続いて幼稚園長についてご説明いたします。まず転出入の合計人数、2名の違いがあることについて、転出が2名、合計2名、転入が4名となっていることについてご説明いたします。

昇任園長2名のうち1名は、麻布幼稚園に新たに専任園長職を設置し、1名の増になったものです。区内での昇任園長のもう1名については、これまでと同様、幼児教育担当専門官として、教育委員会へ派遣研修となっているためです。そのため転出の人数に2名の差が出ております。配置に当たっては、再任園長の退職と新たな園長職の設置の欠員2名に対し、2名の園長を副園長から昇任で迎えております。1名は区内の副園長から、もう一名は区外からの自治法の派遣による転入で計2名を配置しています。そのほか区内異動での園長が1名おります。

続いて、副校長、副園長についてご説明いたします。合計の欄をご覧ください。小中学校それぞれ転出6名のところ、転入が5名となっております。これは昨年度末まで小中学校で各1名ずつの副校長、病気休職の副校長がいるためで、2名配置の学校が小中各1校ずつあったということです。そのため転入のほうが小中学校とも1名少ない合計人数となっております。

それから、幼稚園の合計欄の2名の差につきましては、先ほど申し上げた麻布幼稚園の園長配置にかかわって、副園長を配置しないこととしたことによる1名減と幼児教育担当専門官が園長職に昇任したための副園長職の1名減によるものです。

昇任を含め新たに区外からの転入でお迎えした副校長、副園長は、小学校5名、中学校4名、幼稚園で1名となっております。

港南小学校につきましては現在30学級ということで、副校長が2名配置できることになり、4月中旬以降にもう1名任用される予定となっております。

次に、教員についてです。小中学校、幼稚園とも、先ほど学務課長のご報告のとおり、学級増により転入者が転出者を上回っている状況にあります。そのほかの理由として、講師対応で賄っていた分の欠員補充であったりとか、幼稚園の主任職の増があったことが理由です。麻布幼稚園に副園長のかわりに主任職を配置することによる増であるとお考えください。

事務についても同様で、欠員補充1名、それから栄養士の加配の解消による栄養士が1名減とな

っている状況でございます。

新たに転入、新規採用の教員は、小学校で約60名、中学校で約30名となっております。今年度昇任、異動、転入等の校長、副校長、教育が新たな学校、幼稚園で実力を遺憾なく発揮できるよう指導室長としてしっかりと指導してまいりたい所存です。

以上で説明は終わります。

○綱川委員長 指導室長からの説明は終わりましたけれども、ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

○小島委員 例年と比べて、おおよそ同じような規模の異動だったのですか。それとも今年度は特徴としてこんな点があるというようなことがあるのでしょうか。

○指導室長 中学校の校長につきましては、ほぼ今年度は全員異動なしということで、昨年度は異動が若干ありましたけれども、これは誰も異動が校長がなかったというのは、かなり珍しいことであると思っています。

小学校の校長につきましても、さほど大きな異動ではなかったかなというふうに私どもはとらえております。

副校長、副園長につきましては、こちらのほうは若干の異動がありました。昨年度までで異動可能な年限を過ぎた副校長先生方にかなり他地区への異動を申請して、都で了承してもらったような経緯がございますので、私の所感としては、副校長につきましてはかなりの異動があったととらえております。

小学校、中学校の教員につきましては当然、クラス増の傾向や、児童数、生徒数の増加によって教員の異動が多くなっているととらえております。

以上でございます。

○小島委員 新規採用についてですが、幼稚園が6名、小学校14名、中学校6名ということですが、大体、例年どおりですか。

○指導室長 例年より若干多い傾向です。とりわけ幼稚園につきましては、学級増の関係ですとか、異動の関係で、新規採用の幼稚園教員が多い傾向にございます。実際に、今年度、正規の幼稚園教員の補充が十分でなくて、講師で対応しなければいけない園も生じているところでございます。

○小島委員 新規採用の先生が多く入ってくれることは、保護者の中では少々不安に感じることもあるかもしれませんが、区全体としては、やはり若い力がどんどん入ってきてくれるということは活力につながり、良いと思います。

かつて、幼稚園で新規採用が1名とか、ほとんど異動もなければ新規採用もないような時代があって、これでいいのかと思ったことがありましたが、最近は幼稚園の園児数も増えクラス数も増えたことから、新規採用6名というのは、ほんとうにうれしい気がします。

小学校の場合、新規採用が14名と多いことで、この新しい新規採用の先生をどう指導していくかということですね。この新規採用14名は、学校へはばらけて配置しているのですか。

○指導室長 特段どこかの学校にかたまっているというような配置はしておりません。小島委員がおっしゃるとおり、若手教員が本区の教育で力を発揮してもらうことが、本区の教育の充実につな

がることと考えております。

例年どおり、統括指導主事及び指導主事に、学校・園での指導助言を重視させ、各学校での指導を通して教員に力をつけてもらって、より信頼される教育が実現できるように指導室としても関係機関とも連携してまいりたいと思っております。よろしく願いいたします。

○綱川委員長 力強い宣言だと思います。

○澤委員 私も小島委員の質問に関連したことですが、うちは地元が、赤坂ですけれども、最近小学校へ行くと、若い先生が従来に比べると増えてきていて、とても活気を感じます。ただ、若い先生は経験が必ずしも豊富ではないので、なかなか悩みも多いようです。指導室長が今言われたように、若い先生をうまく指導していただきたい。港区にはNPO練成アカデミーがありますが、OBの先生方の協力を得て、若い先生が港区の学校で仕事してよかったなと思える環境を、ますます整えていただけるようよろしくお願いします。

○小島委員 港区の子供たちの教育がより充実するためには、先生方に頑張ってもらいたくないといけないので、新人の方、それから中堅の方、年配の方とバランスよく配置していくことが大事だと思うので、指導室長には港区へより良い先生に来ていただけるよう特にお願いしたいと思います。

○綱川委員長 それでは、この案件はよろしいでしょうか。

本日予定している案件は全て終了しましたが、庶務課長、その他何かございますでしょうか。

○庶務課長 ございません。

○綱川委員長 特になんということですが、先ほどの件で学務課長、回答されますか。

○学務課長 発言をお許しいただいてありがとうございます。

先ほどの私の発言の訂正をさせていただきます。先ほど東町小学校で、国際学級を希望した方が全員繰り上がったと申し上げましたが、国際学級を希望した人の中で繰り上がったのは6名で、選択希望制で繰り上がれなかった方は2名いらっしゃいます。その方は一般の指定校に行かれたということでございますので、発言を訂正させていただきます。

○小島委員 先ほど全員繰り上がったというお話だったので、これはよかったなと思ったのですが、外国籍の方で入学を希望したけれども、入れなかった方がいるということでしょうか。

○学務課長 2名いらっしゃいます。

○小島委員 前年も要望ということでお話したのですが、せっかく東町小学校で国際学級を設置したので、外国人の子弟の教育に港区としても責任を負わなくてはいけないし、特に東町小学校は、国際学級を特色としているわけですから、何とか外国籍で東町小学校を希望した方は優先して入れてあげるべきではないかと思うのです。

入っていただくことによって、日本人の子供も刺激を受けて成長していくわけですし、国際学級を設置した目的にも合致するわけです。前年も2人か1人、どうしても外国籍の方が入れなかったという結果を聞きました。今年もそうってしまったということで、外国籍も日本国籍も優劣ないので、それはできませんよというのは、国際学級を設置した目的から見たら、別に差別とか、あるいは特に優位にやったことでなくて合理的な理由があると思っているのですが。その点をもう一度よく検討してもらえないか要望をしたいと思います。

○綱川委員長 私も前回、前々回と、そういうお話をさせていただいて、それは条例上難しいですという前学務課長から回答をいただいたのですが。

○小島委員 その規則要綱は前学務課長、変えられないのですか。

○綱川委員長 検討をしていただくように教育委員のほうから要望を出して、またご回答をいただくということでよろしいでしょうか。

○小島委員 私が聞いているのは、結論を出してほしいということではなくて、そういう規則規定があるということであるならば、そういう規則規定というのは改変することはできるんですかということだけを聞きたかったのです。

○学務課長 当然、規則等は改正できるものでございますけれども、制度趣旨や、ニーズ、過去の経緯等を私のほうで調べまして、今後、検討をさせていただきたいと思います。

○小島委員 外国籍の方がどんどん東町小学校へ入ってくれば、ますます東町小学校の国際学級としての価値が高まると思います。それがまた外国籍の子供に対する港区の教育委員会としての責務だろうと思っています。

○綱川委員長 今年は6名入って2名入学できなかったのですが、8名全員が抽選漏れの場合もあるとすると、希望選択してきた子供たちは、外国籍の子供がいるから入ろうとしたのに、入ったらゼロだったということになって、本末転倒的なことになっては困ることもあり得るので、検討してみてくださいということで、よろしいでしょうか。

○小島委員 はい。

○綱川委員長 では、これもちまして閉会といたします。

次回は4月22日火曜日、午後3時から予定しております。よろしくお願ひします。お疲れ様でした。(午後3時50分)

会議録署名人

港区教育委員会委員長 綱川智久

港区教育委員会委員 澤孝一郎